

福岡市 高齢社会に関する調査 (高齢者一般調査B)

令和8年1月
調査主体 福岡市

<ご記入にあたって>

1. この調査は、調査票をお送りしたあて名の方ご本人に回答していただくものです。また、ご本人による記入が困難な場合は、ご本人の意思に基づいて、ご家族や代理人の方が記入してください。
2. この調査票は、令和7年10月時点で福岡市内にお住まいの65歳以上の方に、お送りしています。
3. 回答内容は、「知っている方は全体の何%」「こう思う方は全体の何%」といった形で統計的に整理いたしますので、お答えいただいた方の個人のご意見がそのまま公表されることは一切ございません。
4. 記入は鉛筆、ボールペンをお使いください。
5. 回答は、問の順番どおりに進み、当てはまる項目を1つ選んで、その番号を○で囲んでください。指示があるとき(○はいくつでも)などはそれに従ってください。
6. 質問によっては回答していただく方が限られる場合がありますので、案内にそってお答えください。
7. 「その他」を選ばれたときは、その内容を〔 〕の中に具体的に記入してください。
8. ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、2月6日(金)までに、郵便ポストに投函してください。

< お問い合わせ先 >

福岡市福祉局高齢社会部 高齢社会政策課
〒810-8620 福岡市中央区天神 1-8-1 TEL : 092-711-4595
「高齢社会に関する調査」担当

（注）本文中の「あなた」とは、あて名の方ご本人のことを指します。

1 あなたご自身のことについておたずねします

問1 現在、この調査票にご記入頂いている方は、どなたですか。（○は1つ）

1. あて名の方ご本人
2. 普段あて名の方の介護をしている家族・親族
3. 普段あて名の方の介護はしていない家族・親族
4. その他〔

〕

問2 あなたの性別は。（○は1つ）

1. 男性
2. 女性

問3 あなたの年齢は。（令和7年10月1日現在）（○は1つ）

- | | |
|------------|------------|
| 1. 65歳～69歳 | 2. 70歳～74歳 |
| 3. 75歳～79歳 | 4. 80歳～84歳 |
| 5. 85歳～89歳 | 6. 90歳以上 |

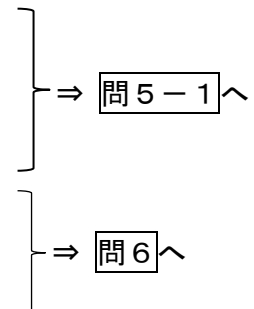
問4 あなたのお住まいの区は。（区、町名、丁番号を記入してください。）

〔 〕区〔 〕〔 〕丁目

記入例：〔中央〕区〔天神〕〔 1 〕丁目

問5 あなたのご家族の状況は。（○は1つ）

1. 一人暮らし世帯
2. 夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯
3. 夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯
4. あなたとその他の高齢者（65歳以上）のみの世帯
5. 二世帯同居世帯（65歳未満の方がいらっしゃる世帯）
6. 三世帯同居世帯
7. その他の世帯〔



【問5で「1」～「4」と答えた方にうかがいます】

問5-1 あなたには、日常行き来がある親族の方が近くにいらっしゃいますか。

2か所以上にいる場合、一番近くにいる方はどこにいらっしゃいますか。（○は1つ）

1. 同じ町内（小学校区程度）にいる
2. 同じ区内にいる
3. 福岡市内にいる
4. 福岡県内にいる
5. 福岡県外にいる
6. 日常行き来がある親族はいない

ここから再びすべての方にうかがいます

問6 あなたの世帯全員の年間総収入額（税込み）はどれくらいですか。（○は1つ）

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 50万円未満 | 2. 50～100万円未満 |
| 3. 100～150万円未満 | 4. 150～200万円未満 |
| 5. 200～300万円未満 | 6. 300～400万円未満 |
| 7. 400～500万円未満 | 8. 500～600万円未満 |
| 9. 600～1,000万円未満 | 10. 1,000万円以上 |

問7 あなたの介護保険の要介護度は次のどれですか。（○は1つ）

- | | | |
|---------------------------|-----------|---------|
| 1. 要介護認定の申請はしていない | | |
| 2. 要介護認定を申請したが、非該当（自立）だった | | |
| 3. 要支援1 | 4. 要支援2 | 5. 要介護1 |
| 6. 要介護2 | 7. 要介護3 | 8. 要介護4 |
| 9. 要介護5 | 10. わからない | |

2 情報通信機器の活用についておたずねします

問8 あなたが、ふだん利用している情報通信機器はどれですか。（○はいくつでも）

- | | |
|---------------------|-----------|
| 1. 固定電話 | } ⇒ 問8-1へ |
| 2. ファックス | |
| 3. 携帯電話（スマートフォンを除く） | |
| 4. スマートフォン | |
| 5. タブレット | |
| 6. パソコン | } ⇒ 問8-2へ |
| 7. いずれも使わない | |

【問8で「1」～「6」のいずれかを利用していると答えた方にうかがいます】

問8-1 あなたは、問8で利用していると回答された情報通信機器を、どのようなことに利用していますか。(〇はいくつでも)

1. 通話
2. ファックスでのやりとり
3. メールのやりとり
4. ライン、フェイスブック、エックス(旧ツイッター)インスタグラムなどのSNS
5. インターネットで情報を集める
6. インターネットショッピング
7. インターネットバンキング
8. バーコード決済、スマホ決済
9. 動画の視聴
10. Web会議(ウェブ会議)
11. オンライン学習
12. その他〔 〕

〈問 8-1 回答後〉

※問8で

- 4. スマートフォン
- 5. タブレット
- 6. パソコン

のいずれかを
選択した方は

※その他の方は、問 8-2 へ

【問8で「4」「5」「6」のいずれかも選択していない方（「スマートフォン」「タブレット」「パソコン」を利用していない方）にうかがいます】

問8-2 あなたが、スマートフォン、タブレット、パソコンを利用していない理由は
何ですか。(〇はいくつでも)

1. 必要性を感じないから
2. 使い方が分からないので、面倒だから
3. 興味はあるが購入場所、購入方法などが分からないから
4. 使い方を覚えたいが、教えてくれる人がいないから
5. お金がかかるから
6. 文字が見にくいから
7. その他〔

3 現在のお住まいについておたずねします

ここから再びすべての方にうかがいます

問9 あなたのお住まいは、次のどれですか。（○は1つ）

- | | |
|------------------------------|-----------|
| 1. 持ち家一戸建て | } ⇒ 問10へ |
| 2. 分譲マンション | |
| 3. 借家一戸建て | } ⇒ 問9-1へ |
| 4. 民間の賃貸マンション、アパート | |
| 5. 市営・県営住宅 | |
| 6. UR（都市再生機構（旧公団））・公社などの賃貸住宅 | |
| 7. サービス付き高齢者向け住宅など的高齢者向け住宅 | |
| 8. 有料老人ホーム・ケアハウス | } ⇒ 問10へ |
| 9. その他〔 | |

【問9で「3」～「7」と答えた方にうかがいます】

問9-1 あなたの現在のお住いの1か月の家賃（共益費なども含む）はいくらですか。（○は1つ）

1. 1万円未満
2. 1～2万円未満
3. 2～3万円未満
4. 3～4万円未満
5. 4～5万円未満
6. 5～6万円未満
7. 6～7万円未満
8. 7～8万円未満
9. 8万円以上

ここから再びすべての方にうかがいます

問10 あなたは、現在のお住まいで困っていることがありますか。（○はいくつでも）

- | | |
|--------------------------------------|---|
| 1. せまい | } |
| 2. 老朽化している | |
| 3. 手すりがなかったり、室内に段差があるなどバリアフリー化されていない | |
| 4. 日照・騒音など、環境が悪い | |
| 5. 家賃が高い | |
| 6. 立ち退き要求を受けている | |
| 7. 自分の居室がない | |
| 8. 集合住宅のエレベーターがない | |
| 9. その他〔 | |
| 10. 特になし | |

【これまでに住宅を住み替えたことがある方、または現在住み替えを考えている方にうかがいます】※住宅を住み替えたことがなく、現在も住み替えを考えていない方は、問12へ

問11 あなたは、住み替えにあたってどのようなことに困りましたか、または困っていますか。（○はいくつでも）

1. 住宅をどうやって探せばよいかわからない
2. 家賃などの費用の面で希望する住宅がない
3. 広さや立地面で希望する住宅がない
4. 駅の近くなど交通の便がよい場所に希望する住宅がない
5. 不動産会社や管理会社などの事業者の対応が悪い
6. 高齢者であることを理由に断られた
7. 保証人や緊急連絡先がないことを理由に断られた
8. その他〔
9. 特に困ったことはない

〕

4 健康・福祉などについておたずねします

ここから再びすべての方にうかがいます

問12 あなたの現在の健康状態はいかがですか。（○は1つ）

1. 健康で、普通に生活している
2. 何らかの病気や障がいはあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出もひとりでできる
3. 家の中での生活はおおむね自分で行っているが、何らかの病気や障がいがあり、外出はひとりでできない
4. 病気や障がいがあるが、家の中での生活の多くに手助けが必要で、日中もベッド（ふとん）の上での生活が主体である
5. 病気や障がいがあるが、家の中での生活全般に手助けが必要で、一日中ベッド（ふとん）の上にいる

⇒ 問12-1へ

⇒ 問13へ

【問12で「1」～「3」と答えた方にうかがいます】

問12-1 健康づくりや介護予防のために、何か運動をしていますか。（○はいくつでも）

1. 散歩などできるだけ歩くようにしている
2. 自宅で軽い運動や体操などを行っている
3. 公民館などで軽い運動や体操などを行っている
4. 公園などに設置してある器具などを使って運動している
5. スポーツクラブに通っている
6. その他〔
7. 特に何もしていない

問12-2

問12-3

問12-4へ

⇒ 問12-5へ

【問12-1で「1」～「6」と答えた方にうかがいます】

問12-2 それはどのくらいの頻度でしていますか。（〇は1つ）

1. 毎日・ほとんど毎日
2. 週2～3回程度
3. 週1回程度
4. 月1～2回程度

【問12-1で「1」～「6」と答えた方にうかがいます】

問12-3 健康づくりや介護予防のために運動に取り組むこととなった主なきっかけは何ですか。（〇はいくつでも）

1. 医師などの専門家からの指導や助言
2. テレビや新聞などの情報から自分で判断して
3. 家族や知人、友人からのアドバイスや一言
4. 近所の人からの誘い
5. 検査の結果（数字など）が気になったため
6. 気になる症状があるため
7. 新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛で健康づくりの必要性を感じたため
8. 以前から運動を続けている
9. その他〔 〕

【問12-1で「1」～「6」と答えた方にうかがいます】

問12-4 健康づくりや介護予防のために何か運動に取り組むことで、どのような効果があったと感じていますか。（〇はいくつでも）

1. 病気にかかりにくくなったり、症状が軽くなったりした
2. 疲れにくくなった
3. つまづいたり転んだりすることが少なくなった
4. 立ったり座ったり、階段の昇降が楽になった
5. 全体的に体力が向上した
6. 毎日の生活が充実していると感じるようになった
7. よく眠れるようになった
8. 集中力が向上した
9. 自己肯定感が高まった
10. その他〔 〕
11. 特に効果はなかった

⇒ 問13へ

【問12-1で「7」と答えた方にうかがいます】

問12-5 何もしていない理由は何ですか。（〇はいくつでも）

1. 健康なので必要性を感じていない
2. 運動などをする場所が近くにない
3. 一緒にする人がいない
4. やって見たが続かなかった
5. 何をすればよいのかわからない
6. 何もしたくない
7. 費用負担が大きい
8. 時間がない
9. その他 [

]

ここから再びすべての方にうかがいます

問13 健康づくりや介護予防のために、運動以外で気を付けていることはありますか。
（〇はいくつでも）

1. かかりつけの医師に定期的に診てもらっている
2. 定期的に健診やがん検診を受けている
3. 日常生活で、自分でできることはできるだけ
自分でするようにしている
4. 口の中を清潔にしている
5. 休養や睡眠を十分にとっている
6. 規則的な生活を心掛けている
7. 栄養バランスなどに気を付けて食事をしている
8. パズルや計算など、認知症予防に取り組んでいる
9. 趣味や遊びなど楽しいことをする
10. なるべく人とのつきあい（会話）をするようにしている
11. 職場、地域などでの役割を続ける
12. その他 [
13. 特にない ⇒ 問14へ

⇒ 問13-1へ

【問13で「1」～「12」と答えた方にうかがいます】

問13-1 健康づくりや介護予防のために運動以外のことに取り組むこととなった主なきっかけは何ですか。（〇はいくつでも）

1. 医師などの専門家からの指導や助言
2. テレビや新聞などの情報から自分で判断して
3. 家族や知人、友人からのアドバイスや一言
4. 近所の人からの誘い
5. 検査の結果（数値など）が気になったため
6. 気になる症状があるため
7. 新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛で、健康づくりの必要性を感じたため
8. その他〔 〕

ここから再びすべての方にうかがいます

問14 「フレイル」という言葉を知っていますか。（〇は1つ）

1. 言葉だけでなく、内容も知っている
2. 言葉は知っているが、内容はよく知らない
3. 知らない

※「フレイル」とは、年をとって体や心の働き、社会的なつながりが弱くなった状態を指し、そのまま放置すると、要介護状態になる可能性があります。
フレイルに早めに気づいて、適切な取り組みを行うことで、フレイルの進行を防ぎ、健康な状態に戻ることができます。

問15 あなたは、この1年間の間に、歯科の定期健診を受けましたか。（〇は1つ）

1. 受けた
2. 受けていない

問16 あなた自身の歯は何本ありますか。親知らず、入れ歯、ブリッジ（取り外しできない入れ歯）、インプラントは含みません。さし歯や金属をかぶせた歯はあなた自身の歯として数えます。（〇は1つ）

1. 28本（全部ある）
2. 24～27本
3. 20～23本
4. 10～19本
5. 5～9本
6. 1～4本
7. 0本

問17 あなたは、どの程度、かんで食べることができますか。（○は1つ）

1. 何でもかんで食べられる
2. 一部かめない食べ物がある
3. かめない食べ物が多い
4. かんで食べることはできない

問18 あなたは、入れ歯やブリッジを使っていますか。（○は1つ）

1. 上下両方のアゴで使用
2. 上のアゴだけ使用
3. 下のアゴだけ使用
4. 使っていない

問19 あなたのお口（歯や歯ぐき、入れ歯）の健康状態はいかがですか。（○は1つ）

1. とてもよい
2. まあよい
3. あまりよくない
4. よくない

問20 あなたの歯みがきの頻度をお答えください。（○は1つ）

1. 1日3回以上
2. 1日2回
3. 1日1回
4. 時々みがく
5. みがかない

問21 あなたは、歯間ブラシやデンタルフロスを利用していますか。（○は1つ）

1. 毎日利用する
2. ときどき利用する
3. 利用していない

問22 認知症についての広報物に目を通したり、講座に参加したりするなど、認知症への正しい理解を得る行動をとっていますか。（○は1つ）

1. とっている
2. どちらかといえば、とっている
3. どちらかといえば、とっていない
4. とっていない

問23 認知症に関してどのようなことが知りたいですか。（〇はいくつでも）

1. 認知症の原因や症状
2. 認知症の予防方法
3. 認知症の人への接し方
4. 認知症の人の気持ち
5. 認知症に関する相談窓口
6. 認知症の治療や診療に関すること
7. 認知症の専門医と受診方法について
8. 認知症の在宅サービスに関する情報
9. グループホームなどの施設の情報
10. 本人に代わり、金銭や財産の管理、契約などの手続きを行う制度に関すること
11. 認知症の人や家族を支えるボランティアや地域での活動に関すること
12. 現在、認知症当事者が行っている活動
13. その他〔

〕

問24 認知症の人やその家族の立場に立って考えたり、行動（認知症の理解、本人の意思を尊重する心がけや接し方、声かけや見守り、相談助言や情報提供など）した経験がありますか。（〇は1つ）

1. いつもある
2. よくある
3. 時々ある
4. まれにある
5. 一度もない

問25 認知症対策として充実した方がよいと思うことは何ですか。（〇はいくつでも）

1. 認知症に関する知識・対応方法・相談窓口などの普及啓発（広報、講座・講演会など）
2. 認知症の治療が受けられる身近な医療機関（かかりつけ医）
3. 認知症治療や介護に関する情報が入手できる仕組み
4. 認知症の人が緊急時に入院・入所できる病院・施設
5. 認知症の人を地域で見守るしくみや居場所
6. 認知症の人の家族に対する支援
7. 認知症の人が活躍できる場・機会
8. 認知症の人の財産や権利を守るための仕組み
9. 認知症の人にもやさしい商品・サービスの開発・促進
10. その他〔

〕

問26 福岡市は、認知症の人が住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし続けることができるまちだと思いますか。（〇は1つ）

1. そう思う
2. おおむねそう思う
3. どちらとも言えない
4. あまりそう思わない
5. まったくそう思わない

問27 健康づくりや介護予防などの取組みについて、今後福岡市に力を入れてほしいことはどのようなことですか。（〇はいくつでも）

1. 体力や筋力の維持・向上のための取組み
2. 栄養バランスのとれた食生活のための取組み
3. お口の健康のための取組み
4. フレイル予防についての取組み
5. こころの健康についての取組み
6. 生きがいつくりのための取組み
7. 介護予防の普及啓発
8. 介護予防のための活動の場所の確保
9. 子どもなど他世代との交流
10. ボランティア人材の育成
11. その他〔

〕

5 いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）についておたずねします

問28 いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）という名前を聞いたことがありますか。（〇は1つ）

1. 聞いたことがある
2. 聞いたことがない

【いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）】

高齢者のみなさんから介護、福祉、健康づくりなどの相談を受け、アドバイスを行う相談窓口として、市内の57箇所に設置しています。

6 権利擁護についておたずねします

問29 高齢者虐待（と思われること）を見たり、聞いたりした場合、市へ通報する義務があることを知っていますか。（○は1つ）

1. 知っている
2. 知らない

※通報先は、各区地域保健福祉課やいきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）です。

【高齢者虐待の例】

- ①身体的虐待…「たたく」「蹴る」「物を投げつける」など、痛みや身体にあざ・傷を与える行為
- ②介護・世話の放棄・放任…介護や生活の世話をしている人が、入浴・食事・着替えなどの世話をしなくなり、高齢者の生活環境や身体・心の状態を悪化させる行為
- ③心理的虐待…「怒鳴る」「ののしる」「無視する」など、高齢者の心に苦痛を与える行為
- ④性的虐待…高齢者が性的に嫌がることを無理強いする行為
- ⑤経済的虐待…高齢者の財産やお金を勝手に使ったり制限したりする行為

問30 あなたは、「成年後見制度」を知っていますか。（○は1つ）

1. 制度の名称だけでなく、制度の内容も知っている
2. 制度の名称は知っているが、内容はよく知らない
3. 知らない

【成年後見制度とは】

認知症、知的障がい、精神障がいなどで判断能力が十分でない人のために、本人の権利を守る人（成年後見人等）を選ぶことで、法律的に本人を支える制度です。

福岡市成年後見推進センターでは、制度の利用を必要とする人やその家族、支援者や関係機関からの相談を受け、制度の利用促進を図っています。

＜福岡市成年後見推進センター＞

所在地：福岡市中央区荒戸 3-3-39 福岡市市民福祉プラザ（ふくふくプラザ）3階

問い合わせ先：TEL 092-753-6450 FAX 092-734-2010

受付時間：火曜日～土曜日 午前9時～午後5時（祝日・年末年始を除く）

7 医療についておたずねします

問31 あなたは、普段から健康状態や病気のことで相談でき、体調が悪いときなどに治療を受ける、かかりつけ医がいますか。（○は1つ）

1. いる
2. いない

問32 あなたは、在宅医療に関心がありますか。（○は1つ）

1. ある
2. ない

問33 あなたは、脳卒中の後遺症やがんなどで長期の治療が必要となった場合、在宅医療を希望しますか。また、実現可能と思いますか。（○は1つ）

1. 希望するし、実現可能だと思う ⇒ 問34へ
2. 希望するが、実現は難しいと思う } ⇒ 問33-1へ
3. 希望しない }
4. 現在、受けている } ⇒ 問34へ
5. わからない }

【問33で「2」か「3」と答えた方にうかがいます】

問33-1 あなたが、在宅医療を「希望しない」、または「実現が難しい」と思う理由は何ですか。（○は1つ）

1. 往診などしてくれる医師がいないから
2. 訪問看護や介護の体制が不十分だから
3. 家族に負担をかけるから
4. 介護してくれる家族がいないから
5. 急に病状が変わったときの対応が不安だから
6. 医師や看護師の訪問が精神的に負担になるから
7. 療養できる部屋やトイレなどの在宅環境が整っていないから
8. 経済的に負担が大きいから
9. その他 []

ここから再びすべての方にうかがいます

問34 万一、あなたが治る見込みがない病気になった場合、最期はどこで迎えたいですか。（〇は1つ）

1. 自宅（親族の家を含む）
2. 医療機関
3. 介護サービスが受けられる施設
4. その他〔
5. わからない

〕

8 これからについておたずねします

問35 あなたは、これから年齢を重ねても、住み慣れた地域で暮らし続けることができますか。（〇は1つ）

1. できると思う
2. どちらかといえばできると思う
3. どちらかといえばできると思わない
4. できると思わない
5. わからない

問36 あなたは、介護が必要となったとき、どのようにしたいと考えていますか。（〇は1つ）

※ここで在宅とは、自宅や家族の家のことを指します。

1. 在宅で、できるかぎり家族だけでの介護を受けたい
2. 在宅で、家族の介護と介護保険サービスを併せて介護を受けたい
3. 在宅で、介護保険サービスを中心に介護を受けたい
4. 施設などに入所したいが、介護保険の在宅サービスが充実すれば、在宅で介護を受けたい
5. 住み慣れた地域の施設に入所したい
6. 住み慣れた地域でなくてもよいので施設に入所したい
7. その他〔
8. わからない

〕

問37 あなたが、医療や介護が必要になったとき、どのようなことが不安ですか。

（〇はいくつでも）

1. 食事や掃除など、身の回りのこと
2. 日用品の買い物や病院受診などの外出
3. 災害が起きたときのこと
4. 自宅の居住環境
5. 医療や介護サービス利用にかかる費用
6. 保険の手続きや金銭管理
7. 家族のこと
8. その他〔
9. わからない

〕

問38 あなたは、認知症や病気などによって、医療や介護などに関する自分の希望を伝えることが難しくなる場合に備えて、何か準備をしていますか。

（一番近いもの1つに〇）

1. 家族や周囲の人に自分の希望を伝えている
2. 家族や周囲の人に自分の希望を伝えてはいないが、エンディングノート（※）などを書いている
3. 家族や周囲の人に自分の希望を伝えてはいないが、情報は収集している
4. その他〔
5. 特に何もしていない

〕

※「エンディングノート」とは、自分がもしもの時や何らかの理由で意思疎通ができなくなったときに備えて、家族や周りの人に伝えたいことを書きとめておくノートのことです。

問39 「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）」又は「人生会議」という言葉を知っていますか。（〇は1つ）

1. 言葉だけでなく、内容も知っている
2. 言葉は知っているが、内容はよく知らない
3. 知らない

※「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）」とは、もしものときのために、自らが望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のことで、「人生会議」という愛称で呼ばれています。

問40 高齢者に関する施策について、行政に対して今後どのようなことに特に力を入れてほしいと思いますか。（〇は3つまで）

1. 講座などを通じて、豊かで健康的な生活を送れるよう支援する施策
2. 地域活動やボランティア活動など、高齢者の社会貢献活動を支援する施策
3. 意欲と能力に応じた就業機会が得られるよう支援する施策
4. 家庭や地域で健康づくりに取り組めるよう情報提供や環境づくりを推進する施策
5. 食事や運動など健康づくり・介護予防を行う環境を整える施策
6. 安心して在宅生活を続けられるよう、医療や介護の在宅サービスを充実させる施策
7. 在宅での生活が困難な方に対し、施設・居住系のサービスを充実させる施策
8. 従事者の介護技術の向上などの介護サービスの質の確保・向上に関する施策
9. 認知症高齢者に対する支援体制を充実させる施策
10. 高齢者の財産を守り、権利の行使を確保する施策
11. 法律や在宅介護などに関する高齢者からの相談への対応力を充実させる施策
12. 孤立した高齢者に対する見守りのため、地域の中で支え合うようなネットワークを構築する施策
13. 高齢者のための良質な住まいを確保する施策
14. 施設や道路、交通などにおける、高齢者にやさしいまちづくり
15. その他 []

問4-1 あなたは、以下のサービスを利用したことがありますか。また、利用していない場合は、今後利用したいと思いますか。（項目ごとに○は1つ）

さらに、サービスを現在利用している場合は、それに対する満足度はいかがですか。（項目ごとに○は1つ）

「現在利用している」に○をした方は、その満足度をお答えください。

		利用状況・利用意向					満足度			
		現在利用している	今後ぜひ利用したい	必要なサービスなので、利用したい	必要性を感じたら、利用するつもりはない	わからない	満足している	やや満足している	あまり満足していない	不満である
記入例		①	2	3	4	5	1	②	3	4
1	福岡100プラザ	1	2	3	4	5	1	2	3	4
2	老人いこいの家	1	2	3	4	5	1	2	3	4
3	シニア教室	1	2	3	4	5	1	2	3	4
4	福祉バス	1	2	3	4	5	1	2	3	4
5	高齢者乗車券	1	2	3	4	5	1	2	3	4
6	介護支援ボランティア事業	1	2	3	4	5	1	2	3	4
7	シルバー人材センター	1	2	3	4	5	1	2	3	4
8	緊急通報システム	1	2	3	4	5	1	2	3	4
9	声の訪問	1	2	3	4	5	1	2	3	4
10	日常生活用具	1	2	3	4	5	1	2	3	4
11	生活支援ショートステイ	1	2	3	4	5	1	2	3	4
12	日常生活自立支援事業	1	2	3	4	5	1	2	3	4
13	ふれあいサロン	1	2	3	4	5	1	2	3	4
14	いきいきセンターふくおか (地域包括支援センター)	1	2	3	4	5	1	2	3	4

福岡市 高齢社会に関する調査（高齢者一般調査B）

（サービス内容の説明）

1	福岡100プラザ	高齢者の各種相談、健康増進、教養の向上、レクリエーションなどの便宜を総合的に提供。
2	老人いこいの家	高齢者の教養の向上や相互親睦などの場を提供。
3	シニア教室	福岡100プラザや老人いこいの家などで、文化や教養、創作に関する講座や教室を実施。
4	福祉バス	老人クラブなどの自主的活動を支援するためバスを運行する。
5	高齢者乗車券	高齢者の社会参加を促進するため、交通費の一部を助成。
6	介護支援ボランティア事業	介護保険施設などにおいてボランティア活動を行った場合にポイントを付与し、換金できる制度。
7	シルバー人材センター	地域の日常生活に密着した臨時的かつ短期的な仕事を有償で引き受け、これを会員に提供する。
8	緊急通報システム	家庭内で緊急時にペンダントのボタンを押すだけで、自動的に通報され助けが求められるシステム。
9	声の訪問	定期的に電話があり、安否などを確認するサービス。
10	日常生活用具	火災警報器・自動消火器などの給付サービス。
11	生活支援ショートステイ	家族が留守のときなどに、虚弱な方が施設に宿泊できるサービス。
12	日常生活自立支援事業	判断能力が低下した高齢者などへの福祉サービスの利用援助。
13	ふれあいサロン	公民館や集会所などで、地域のボランティアとともにレクリエーション活動などへの参加。
14	いきいきセンターふくおか （地域包括支援センター）	介護、福祉、健康づくりなどの相談を受け、アドバイスを行う相談窓口

【問41で「不満である」と答えた方にうかがいます】

問41-1 具体的にどのようなことに不満がありますか。ご自由にお書きください。

（自由記載）

質問は以上です。

～ 長時間ご協力いただき、本当にありがとうございました